

## IV. 市区町村別の動向

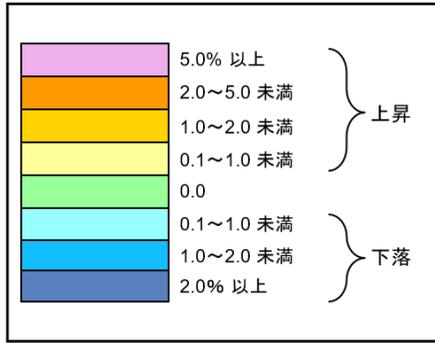
### 1. 東京圏の住宅地

※（ ）は前年変動率

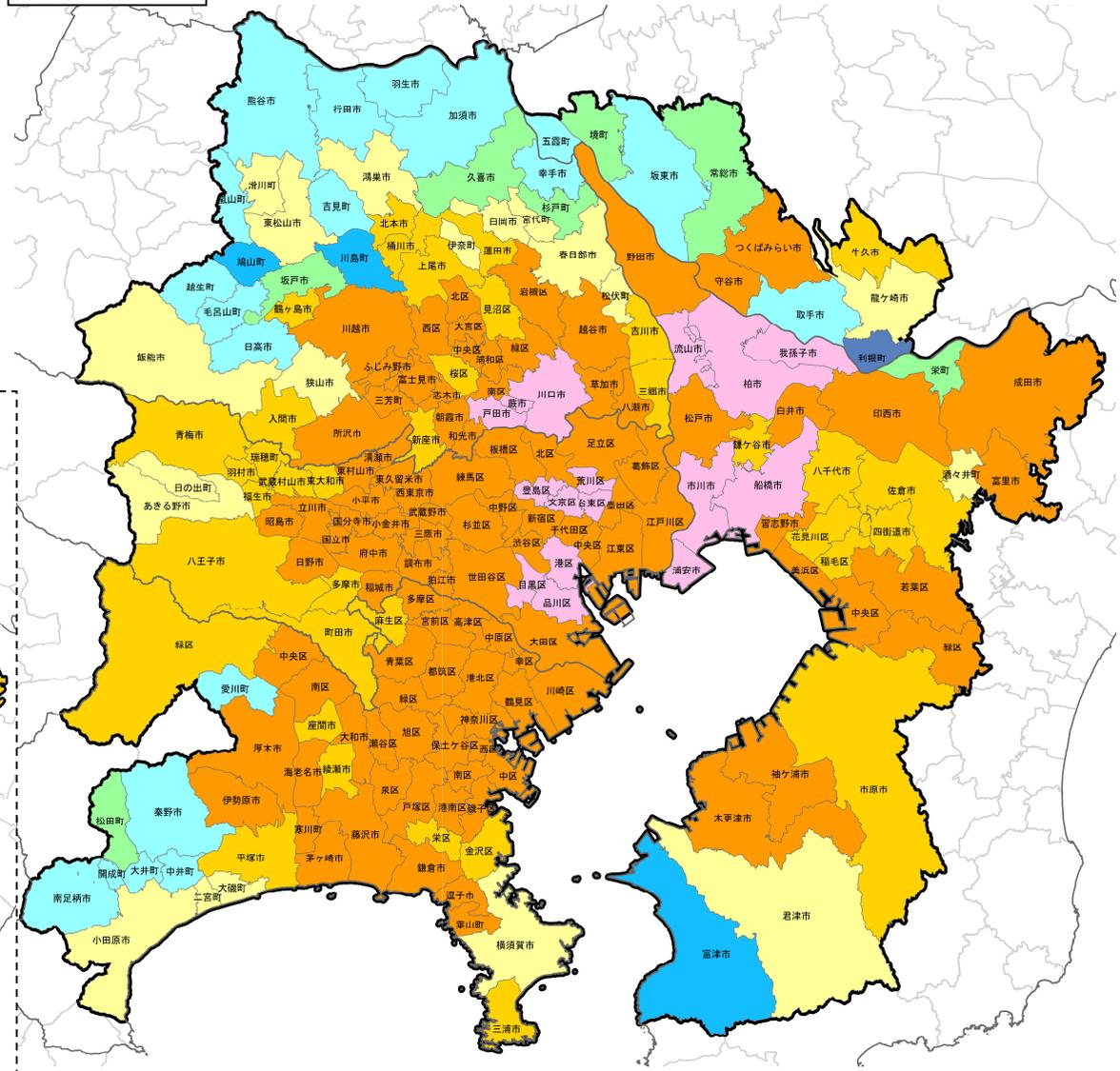
埼玉 県	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ さいたま市では、2.6%上昇 (2.2%上昇)。住宅需要は堅調で10区全てが上昇。都心周辺へ需要が波及しており、見沼区など6区で上昇率が拡大、中央区は上昇率が同率、浦和区など3区で上昇率が縮小となった。</li> <li>○ JR京浜東北線及び埼京線沿線の戸田市、蕨市、川口市では、東京都心近接を背景に、住宅地の需要は堅調で、また、川口市中心部における地価上昇により、周辺地域にも住宅地の需要が波及しており、上昇率が拡大となった。</li> </ul>
千葉 県	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 千葉市では、2.6%上昇 (1.5%上昇)。全6区で上昇が継続し、そのうち5区で上昇率が拡大した。</li> <li>○ 東京都に隣接・近接する浦安市、市川市、船橋市、松戸市、柏市、流山市、我孫子市において、都心への接近性に優れる鉄道沿線の駅徒歩圏の地域では底堅い住宅地の需要が継続し、また、駅徒歩圏の地域における地価上昇や宅地供給不足により、駅徒歩圏の周辺地域へも住宅地の需要が波及し、上昇率が拡大した。</li> <li>○ 房総地域では、市原市、袖ヶ浦市、木更津市で上昇が継続しており、上昇率が拡大した。</li> </ul>
東京 都	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 23区全体では、4.2%上昇 (2.2%上昇)。全ての区で上昇率が拡大となった。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上昇率が大きい順に、豊島区6.2%上昇 (3.3%上昇)、文京区6.1%上昇 (2.9%上昇)、品川区5.5%上昇 (2.9%上昇)、荒川区5.5%上昇 (3.2%上昇)となった。総じて住宅需要は堅調であるが、とりわけ都心周辺の利便性の高い地域ではマンション、戸建住宅とも需要が旺盛で、上昇傾向となった。</li> </ul> </li> </ul>

東京 都	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 23区のうち、外縁部に存する世田谷区3.1%上昇 (1.4%上昇)、葛飾区3.2%上昇 (1.4%上昇)、練馬区3.3%上昇 (1.7%上昇)では、その他の区と比較して、上昇率が小さくなった。</li> <li>○ 多摩地区では、2.2%上昇 (1.0%上昇)。全28市町のうち、24市で上昇率が拡大、4市町で横ばいから上昇となり、全ての市町で上昇となった。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上昇率が大きい順に、国立市4.4%上昇 (2.7%上昇)、狛江市4.1%上昇 (2.2%上昇)、国分寺市3.9%上昇 (2.3%上昇)となった。</li> </ul> </li> </ul>
神奈 川県	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 横浜市では、2.5%上昇 (1.3%上昇)、川崎市では、2.4%上昇 (1.3%上昇)、相模原市では、2.1%上昇 (1.1%上昇)となり3市とも全ての区で上昇率が拡大となった。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅徒歩圏の交通利便性や生活利便性に優れた地域では、需要は底堅く、交通利便性に劣る地域においても生活様式の多様化に伴い需要が増加しており、総じて上昇率が拡大している。</li> </ul> </li> <li>○ その他の市町では、12市町で上昇率が拡大、松田町で下落から横ばい、6市町が下落から上昇となった。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都心部への交通利便性良好な茅ヶ崎市4.5%上昇 (2.5%上昇)、藤沢市4.1%上昇 (2.0%上昇)、逗子市3.8%上昇 (1.8%上昇)、鎌倉市3.2%上昇 (1.3%)では、駅徒歩圏や海に近いエリアを中心に住宅需要は堅調で上昇率が拡大となった。</li> </ul> </li> <li>○ 下落が継続している市町では下落率は縮小している。</li> </ul>
茨城 県	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 龍ヶ崎市、牛久市、守谷市、つくばみらい市で上昇率が拡大し、常総市は下落から横ばい、境町は横ばいが継続し、取手市、坂東市は下落率が縮小、五霞町は下落率が同率、利根町は下落率が拡大した。</li> </ul>

# 市区町村別の状況（東京圏・住宅地）



令和5年調査



令和4年調査

